



厚別区シンボルマーク

あつべつ

区民のページ

2008

1

厚別区の 人口・世帯数	12月1日現在 ()は前月比
	人口 129,229人 (+19)
	男 59,958人 (+27)
	女 69,271人 (-8)
	世帯数 53,542世帯 (+80)

厚別区総務企画課広聴係

編集

〒004-8612
厚別区厚別中央1条5丁目
TEL 895-2400 内線224~226
FAX 895-2403

あつべつじん
厚別人

- 厚別人とは -
厚別区で、魅力ある
さまざまな活動をして
いる人の総称です



←氷のキャンドル



→
氷の彫刻



氷の世界 —きらめきに魅せられて—

昨年の「新さっぽろ冬まつり」に、きらめく氷の彫刻が現れたのをご存じでしょうか。この氷の彫刻を制作したのは山田さんです。

山田さんは十五歳の時から日本料理を学んだ、根っからの料理人です。料理の造形技術を生かし昭和三十九年から平成十年まで、さっぽろ雪まつりの大氷像の制作に携わりました。

大氷像制作を引退し、第一線から身を引いていたのですが、冬まつりスタッフから、山田さんの技術を見込んで氷の彫刻制作の依頼があり、もう一度、氷の世界に戻る決心をしました。

「氷のきらめきというものは、本当に幻想的で美しい

* 日本料理精覚流師範
山田 竹男

Profile (プロフィール)

やまだ・たけお 15歳の時から日本料理を学ぶ。料理の造形技術を生かし、さっぽろ雪まつりの大通西5丁目会場で大氷像の制作に携わる。62歳。

「です」と、山田さんは目を輝かせながら氷の魅力を語ります。昨年は、制作の技術指導も行いました。「九年ぶりでしたが、ほんとに楽しかった。今年はさらに美しいものを作りたい」と意気込みます。

— 厚別への恩返し —

山田さんは「昭和四十五年からずっと厚別で暮らしている、何か地域に恩返しをしたかった」と参加を決めた思いを話します。

「氷の彫刻を見つめる子どもの笑顔を見るのが何よりも楽しみ。体が動く限り作り続けたい」と、山田さんの氷の彫刻への意欲は尽きません。

厚别人は、厚別区役所ホームページでも紹介しています。また、厚别人の情報がありませんら、総務企画課広聴係(右)へご連絡ください。



厚別

1

2008-1-広報さっぽろ

※日本料理精覚流～精進料理の流派の一つ